

ハイリスク海域の航行に役立つ「ブリッジカード」

2022年2月28日更新

こちらは、英文記事「['Bridge Cards' for use in high-risk areas](#)」（2021年2月10日付）の和訳です。



簡易マニュアル集「ブリッジカード」は、ハイリスク海域を航行する船舶の船長・乗組員を対象とした安全備忘録で、特に、海賊行為など船舶の安全に脅威が差し迫った場合に役立ちます。

ペルシャ湾、オマーン湾、アデン湾、紅海では、軍事的・政治的緊張が高まっていることで、商船が依然として深刻な脅威にさらされています。また、西アフリカ海域では依然として海賊行為が横行しています。毎年、ギニア湾では多くの船員が誘拐されたと報告され、事件はこれまでよりさらに沖合でも起こるようになっており、手口もますます激しさを増しています。

このように船舶の安全が依然として脅威にさらされていることを受けて、以下のような簡易マニュアル集「ブリッジカード」が発行されました。

- **[IMSC ブリッジカード](#)**：ペルシャ湾、オマーン湾、アデン湾、紅海を航行する船舶向けに、国際海洋安全保障構成体（[IMSC](#)）が作成したブリッジカード集です。既存の業界ガイダンスや[ベストマネジメントプラクティス第5版（BMP5）](#)の補足版として作成され、中東地域での浮遊型機雷や吸着型機雷がもたらすリスクの高まりに対処するため、2021年2月に内容が更新されました。また、[IMSC パンフレット](#)も役立つでしょう。

- **OCIMFブリッジカード**：ギニア湾を航行する船舶向けに、石油会社国際海事評議会（OCIMF）海上安全委員会が作成したブリッジカード集です。既存の業界ガイダンスや[ベストマネージメントプラクティス（BMP）西アフリカ](#)の補足版であり、当該海域の航行船舶に対する脅威が高まり続けていることを受けて、2020年12月に発行されました。

ブリッジカードは、海賊行為など船舶の安全に脅威が差し迫った際に乗組員の拠り所となることを趣旨とした簡易マニュアルガイドです。報告手順や地域別報告機関の連絡先、不審な接近や攻撃の早期発見方法、船舶に危険をもたらす各種状況に対処する際の推奨事項など、大切な情報が端的かつ明確に理解しやすい形で紹介されています。船舶独自の保安計画やBMP、セキュリティ海図に記載の情報を補足するもので、ハイリスク海域を航行する際に船長・乗組員の安全備忘録として役立つでしょう。運航会社ならびに船長の皆様におかれましては、本船が危険な状態に陥った際には、先にご紹介したブリッジカードの指示を念頭に置いて行動することを推奨いたします。

その他の情報

Maritime Global Security のウェブサイト（www.maritimeglobalsecurity.org）では、BMPのほか、地域別・脅威別のガイダンスなど、業界発行のベストプラクティスを紹介しています。また、Gardの「[海上での海賊行為と武装強盗](#)」や「[イエメン- 港湾の状況について](#)」のページにも関連情報を記載しています。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。